発行日　平成27年4月1日　第23号

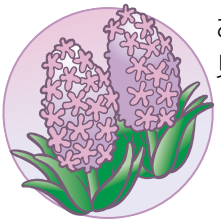
新潟県建設技術センターだより

2015 春号

「つがわ狐の嫁入り行列」

一夜限りの幻想世界へようこそ

城山の狐が今宵嫁を取る、狐火燃やして嫁を取る
お供を揃えて嫁を取る、見よか花嫁、狐火を
見よか行列共揃え、今宵は夢を見てみよか



目次

◆市町村紹介コーナー「阿賀町」 …… 2～3
◆建設技術センター発注者支援事業紹介 … 4
◆東日本大震災応援派遣職員紹介 …… 5
◆新採用職員紹介 …… 5
◆雪のことば・雪のこころ 今冬の大雪災害① … 6
◆建設材料試験の豆知識 …… 7
◆けんせつセミナー・クリエイティブセミナーのご案内 …… 8

一般財団法人
新潟県建設技術センター
URL http://www.niigata-ctc.or.jp/
〒950-1101 新潟市西区山田 2522-18　TEL025-267-4804　FAX025-267-4854　0120-733-308

当センター携帯サイトのQRコードです！お試しを！

市町村紹介コーナー

阿賀町

～雄大な山河が織りなす歴史と文化～

●阿賀町のプロフィール
面　積　952.89㎢
人　口　12,414人（平成27年2月末現在）
世帯数　4,883世帯（平成27年2月末現在）

阿賀町は新潟県の東部に位置しています。明治19年までは福島県（会津）に属していたことから全国的にも珍しい「両属の地」として、会津と越後の歴史と文化が垣間見えます。

町の中央を大河阿賀野川が流れ、かつては舟運の拠点河湊町として栄えました。現在はダム湖をボート漕艇場として活用するほか、舟下りや遊覧船で春夏秋冬うつろい変わる景色をお楽しみいただけます。

温泉・レジャー・グルメ…
魅力いっぱいの阿賀町に、ぜひお越しください！

かのせ温泉・赤湯

阿賀町は温泉の宝庫！津川・鹿瀬・上川・三川。それぞれ違った湯質の温泉で、日ごろの疲れを癒してください。

磐越西線では週末を中心に「ＳＬばんえつ物語」号が運行され、町内各駅に停車します。

手打ちそば

町内飲食店では手打ちそばや鯉・山菜料理など、各店趣向をこらした多彩なメニューをご用意しています。

第26回つがわ狐の嫁入り行列　5／3(日)

阿賀野川の支流、常浪川河川敷の麒麟山公園をメイン会場とし「第26回つがわ狐の嫁入り行列」が開催されます。当日は狐の体験メークや物産販売など昼間のイベントも目白押し。皆様のご来場をお待ちしています。

つがわ狐の嫁入り行列の流れ

17：00頃　花嫁・旅立ちの儀、狐の嫁入り行列
18：30頃　保育園児による子ぎつねの祝踊り
19：45頃　麒麟山公園到着、結婚式・披露宴
20：45頃　フィナーレ。渡し舟に乗って麒麟山へ

建設技術センター発注者支援事業紹介

～ 町道牧武線協栄橋架設（上部工2期）工事～

◆事業概要

協栄橋は、町道牧武線の一級河川東小出川に架かる橋で、現況の有効幅員が4.0m であるため、車両のすれ違いが出来ない状況である他、冬季には除雪した雪が地覆及び高欄部にたまるため、幅員不足になり易く、緊急車両の通行を確保することが困難な状況であり、老朽化と通行性の改善を目的として架け替えを行う工事である。

◆設計条件

橋　　格：町道橋
［上部工］
設計荷重：TL-25（A 活荷重）＋雪荷重1.0KN/㎡
構造形式：ポストテンション方式単純バルブＴ桁橋
（セグメント方式）
橋　長　37.000m
支間長　36.100m
［下部工］
構造形式：逆Ｔ式橋台
基 礎 工：直接基礎

◆工事内容

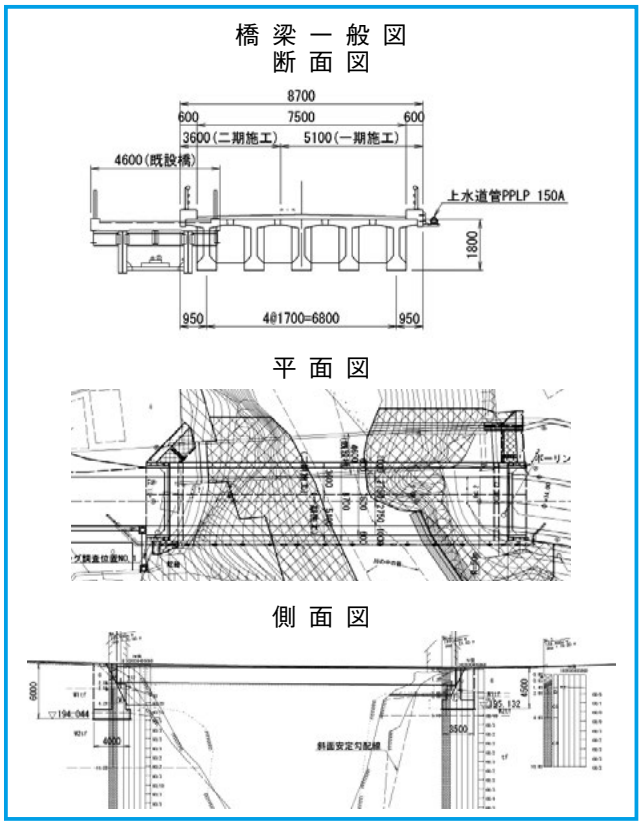
工 事 名：町道牧武線協栄橋架設（上部工2期）工事
工　　期：平成26年9月～平成27年3月
発 注 者：阿賀町役場
工事概要：橋長 =37.0m　桁長 =36.9m　PC 桁 N=2本

◆施工管理状況

桁3本架設状況

工場検査

◆施工位置



【現場技術員からの一言】

この現場は、現橋位置に新橋を架設する工事で、工事中の一般交通を確保するため、現橋脇に新橋を半分施工し、一般交通を切り替えた後に、現橋を撤去し、残り半分の施工を行い一体化する工事です。

施工中の安全確保と、桁架設時の一時的な通行止めなど、阿賀町、施工業者との打ち合わせを重ねたことと、地元の理解･協力があったことで、様々な課題が解決でき、構造物の品質確保と安全確保が図れています。現在は、残り半分の桁架設の準備段階で、平成 27 年度中に完成する予定です。

（技術部　現場技術員　杉木雅治）

東日本大震災応援派遣職員紹介

【派遣職員からの一言】

平成27年1月より、全技協（全国建設技術センター等協議会）の応援職員として、一般財団法人　ふくしま市町村支援機構において、福島県と市町村が発注する東日本大震災による災害復旧工事の実施・変更設計書を作成しています。全技協からは、災害発生時から職員派遣や遠隔地積算によって福島県の災害復旧事業を支援している団体が13団体もあり、震災の規模の大きさとそれに比例した膨大な業務量を実感しています。（現在は、職員派遣5名、遠隔地積算3名の計8名体制です。）

福島県の災害復旧事業の進捗を見ると、県全体では、着工率89%・完了率67%という状況です。方部別では、会津・中通りはほぼ完了しているものの、津波被害や原子力被害の大きかった浜通りでは、着工率86%・完了率55%(H26.12現在)という状況です。また、除染（原子力被害）の進捗を見ると、国直轄事業は平成28年度で完了予定であり、市町村事業では住宅約60%、道路約40%の完了率(H26.11現在)となっている状況です。震災から4年が経過し、着実に復旧は進んでいますが、浜通りの復旧・復興が急がれる状況です。

今後は、全技協という全国的な組織の一員として、災害復旧事業に携わりその促進に貢献できることを誇りとし、自分の役割を果たしていきたいと考えます。また、他団体の組織の一員となることによって考えた事を実践し、お互いの組織の活性化へ繋げていきたいと考えています。

一般財団法人　ふくしま市町村支援機構　業務部
伊藤　武利

新採用職員紹介

平成26年10月より総務部配属となりました、白川慧一と申します。現在は主に経理業務を担当しております。

公益性の高い事業に邁進するセンターの一員として、地域社会の発展に貢献し、皆様から「信用・信頼」を得ることが出来るよう緊張感と向上心を持って業務に取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いします。

総務部総務課総務係　白川　慧一

総務部総務課業務係　池亀　佑美

平成26年10月に入社いたしました池亀佑美と申します。現在は総務部に配属され、庶務と経理に関する業務を担当しております。

当センターは「信用・信頼」のもとに、地域社会づくりをサポートするということをモットーとして掲げております。私も総務として、お客様により「信用・信頼」していただき、地域から必要とされるセンターとなるよう、仕事に邁進していく所存です。

雪のことば・雪のこころ

今冬の大雪災害①

上石（かみいし）　勲（いさお）

プロフィール
独立行政法人　防災科学技術研究所　雪氷防災研究センター　センター長
長岡技術科学大学　客員准教授
最終学位　学術博士（新潟大学）

今冬期は、平成26年12月の徳島県、岐阜県高山市の着冠雪災害、平成27年1月の宮城、山形、新潟県での雪崩災害や建物被害、北海道道東地方の大雪と長期吹雪災害、１月～２月の大雪による新潟県内の建物被害など、各地で多数の大雪による人的・物的被害が出ています（図１）。

昨年12月の徳島県と岐阜県高山市での大雪による被害では、樹木への着雪⇒その後の大量降雪による冠雪⇒倒木⇒電線切断による停電⇒道路除雪困難⇒長期停電、長期孤立と災害が連鎖しました。とくに徳島県では、山間部の集落が孤立し高齢者が亡くなるという痛ましい事故が発生してしまいました。現地調査で分かったのは、生活道路が急勾配で幅が狭く、集落も点在しており、電話もIP電話で停電によって連絡がつかなかったことも災害を大きくしてしまったのではないかということです。

今冬は、日本各地で大雪となっていますが、とくに、新潟県の山沿いをはじめ北陸・東北地方の山沿いと北海道道東地方で大雪となっています（図1）。

当センターの観測点である新潟県奥只見丸山観測点では２月14日に積雪深が597cmとなっており、これは、最近26年間でも４番目の記録となっています。図２は長岡市の雪氷防災研究センターで測定している積雪重量の変化です。**「雪が多くてしかも重い」**。これが今年の雪の特徴です（図2）。そのため、新潟県内では２月20日現在50棟の建物被害が出ています。空き家の倒壊も目立っており、大きな社会問題となっています。

次回以降、なぜ重たいか、今冬の大雪災害の特徴は何かなどについてお伝えします。

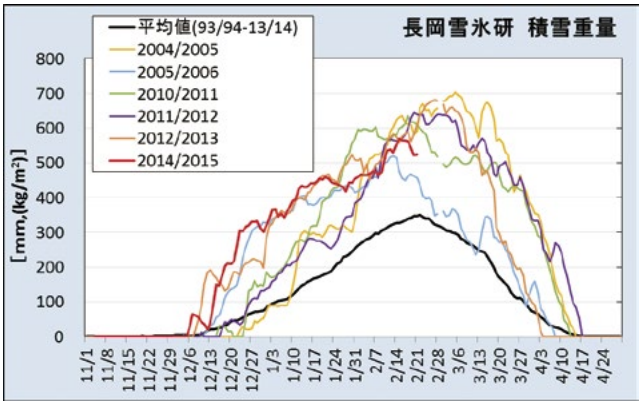


図２　積雪重量の変化（赤:今冬、黒:過去21年平均）

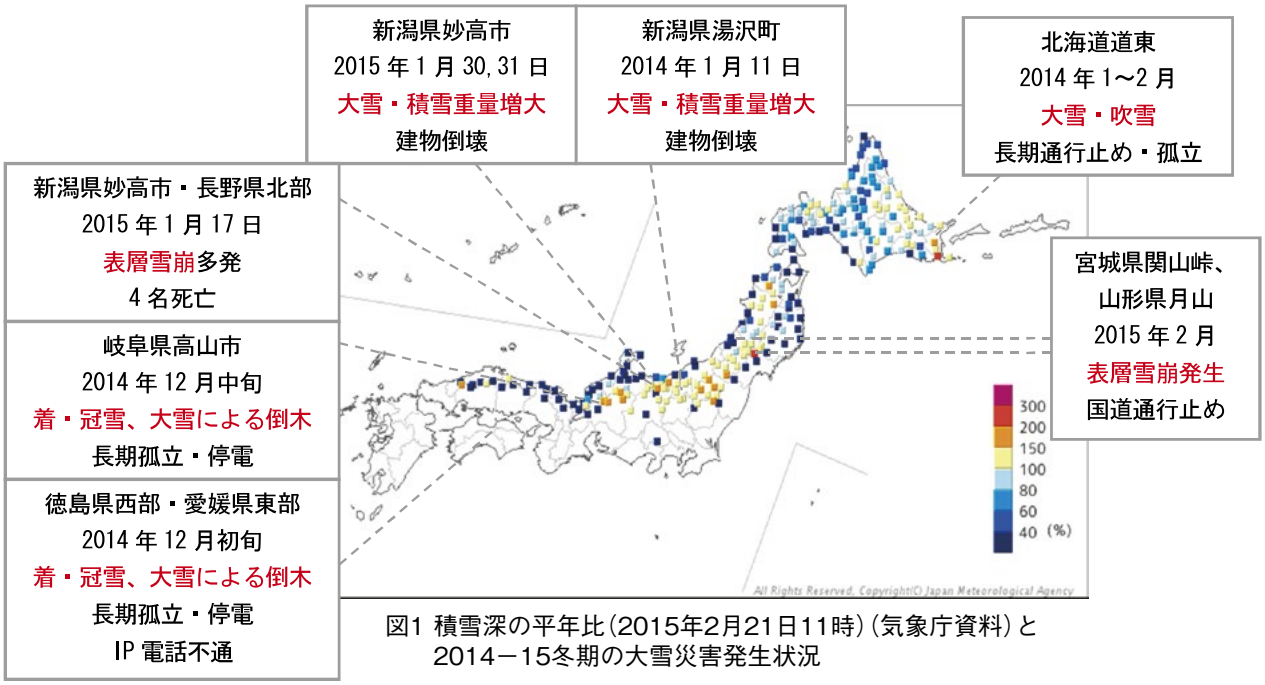


図1 積雪深の平年比（2015年2月21日11時）（気象庁資料）と
2014－15冬期の大雪災害発生状況

建設材料試験の豆知識

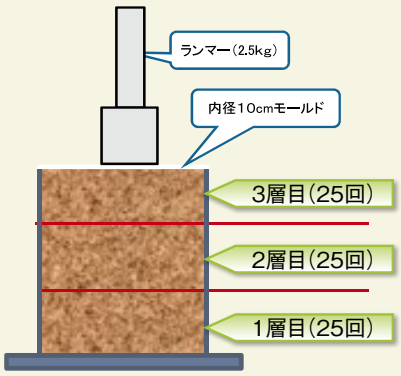
締固めた土のコーン指数試験について

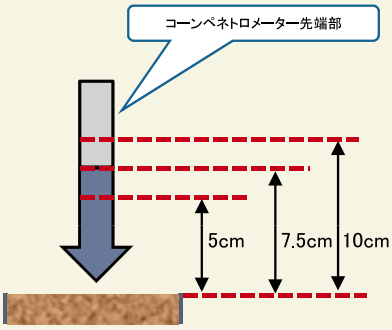
1．目的

地盤の強さを調べることで、建設機械の走行性（トラフィカビリティー）の判定をすることが可能です。また建設発生土や改良土等の強さを調べることで、建設発生土の区分を判定することが可能です。

2．試験方法

（1）JIS A 1210の突固め方法の2.5kgランマーと10cmモールドによって供試体を作製する。
（2）供試体上端面の中央にコーンペネトロメーターを鉛直に立て、1cm/sの速度で貫入させ、コーンの先端から5cm、7.5cm及び10cm貫入したときの荷重計の読みから、それぞれの貫入抵抗力（コーン指数）を求める。





供試体作製 → 荷重の読み → 貫入後

コーン指数の結果より、建設機械の走行性の判定ならびに建設発生土や改良土の区分を以下の表より読みとることが出来ます。

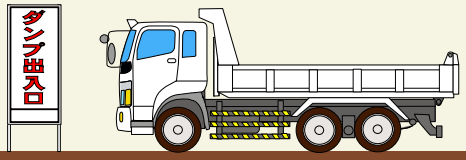
表－1　建設機械の走行に必要なコーン指数　「道路土工　土質調査指針」より抜粋

建設機械の種類	コーン指数(kN/㎡)
超湿地ブルドーザ	200以上
湿地ブルドーザ	300以上
中型普通ブルドーザ	500以上
大型普通ブルドーザ	700以上
スクレープドーザ	600以上(湿地形は400以上)
被けん引式スクレーパ	700以上
モータスクレーパ	1000以上
ダンプトラック	1200以上

表－2　建設発生土および建設汚泥とコーン指数の関係　「セメント系固化材による地盤改良マニュアル」より抜粋

第1種建設発生土	第2種建設発生土	第3種建設発生土	第4種建設発生土	泥土
固結強度が高く礫、砂状を呈するもの	コーン指数			
	800kN/㎡以上	400kN/㎡以上	200kN/㎡以上	200kN/㎡未満

コーン指数 1200kN/㎡以上でダンプトラックの走行が可能です。



けんせつセミナー2015のご案内

建設技術に関する実務的な研修を中心とした単元構成により、現場施工に繋がる経験や知識の習得と基礎から最新の専門技術までの幅広い技術情報に関する理解を促進し、県内建設技術者の専門能力向上を目指して実施しています。

平成 27 年度実施予定表

No.	研修名	研修日	日数	受講対象者			CPD認定
				県	市町村	民間	
1	初任者技術研修	5月中旬	3		○		○
2	自然災害時の危機管理	5月下旬	1		○		○
3	土質･地質調査Ⅰ(基礎編)	6月中旬	1	○	○		○
4	土質･地質調査Ⅱ(応用編)	6月下旬	1	○	○		○
5	雪氷技術	7月上旬	1	○	○		○
6	土木施工管理	7月中旬	1	○	○		○
7	斜面対策技術	8月下旬	1	○	○	○	○
8	道路設計	9月上旬	2	○	○	○	○
9	橋梁Ⅰ(下部工の設計･施工編)	9月中旬	1	○	○	○	○
10	橋梁Ⅱ(上部工の設計･施工編)	9月下旬	1	○	○	○	○
11	道路舗装の調査･設計･施工(新潟会場)	10月上旬	1	○	○	○	○
12	道路舗装の調査･設計･施工(上越会場)	10月中旬	1	○	○	○	○
13	鋼矢板構造物の計画･施工	10月下旬	1	○	○	○	○
14	コンクリート構造物の維持管理(新潟会場)	11月中旬	1	○	○	○	○
15	コンクリート構造物の維持管理(上越会場)	11月下旬	1	○	○	○	○

☆内容、日程は変更することがあります。

クリエイティブセミナーの案内

平成8年度より開催しておりますクリエティブセミナーを平成27年度も開催をいたします。

昨年度は開催100回目として**JAXA防災利用システム室 松原彰士氏より「宇宙開発・利用～惑星探査から宇宙生活、地上防災まで～」**と題しまして講演いただきました。

今年度も魅力あるクリエイティブセミナーを計画しております。

詳細が決まり次第、HP に掲載をいたします。
多数のご参加をお待ちしております。

☆詳しくは、当センターホームページをご覧いただくか、右記までお問い合わせ下さい。

情報管理部　情報管理課　TEL：025-267-4820　FAX：025-267-5260
E-mail：kensyuu@niigata-ctc.or.jp　URL：http://www.niigata-ctc.or.jp

にいがた御当地くいず

Q21. 阿賀町の観光名所にちなんだクイズです。

上川地域七名(ななめ)地区にある「たきがしら湿原」には、ミズバショウやホタルなどの貴重な植物･水生昆虫が生息し、四季を彩ります。

木道が配され、足元の植物たちを愛でながら一歩一歩自然に踏み込んでいけるこの湿原は、ある跡地に人工的に造られた珍しい湿原ですが、この「跡地」とは次のうちどれでしょう。

①果樹園
②水田
③学校

編集後記

当センターは平成27年3月に満30年の節目を迎えることができました。現在の姿となることができたことは、新潟県・市町村及び建設事業者の皆様からのご支援とご指導によるものであると思っております。

さて、平成27年度がスタートいたしました。昨年度開花した当センターの「紅山桜」も間もなく開花することが期待されます。私たちも今までと同様に「信用・信頼」をモットーに、地域づくりをサポートしていきたいと思っております。

（編集委員　技術部　井口学）

くいずの正解②